

日本植物学会 第86回大会で快挙

日本植物学会第86回大会が2022年9月15日～19日の期間、京都府立大学下鴨キャンパスで開催されました。17日には高校生ポスター研究発表が行われ、本校からは3年生の坂上優太さん、竹端将大さん、吉富達哉さんの3名が参加し「AM菌はコナラの成長を促進するのか?」というテーマで発表を行いました。

彼らは2年生の課題研究ⅡからAM菌とコナラとの共生関係に興味を持って粘り強く研究を続け、「AM菌はコナラと共生はするが、その関係は相利共生というよりもAM菌が寄生者でコナラは宿主となる可能性が高い」との結論に達しました。

彼らはこの成果を日本植物学会にて発表し、53校の中から**植物学会会長賞**に選ばれました。第86回大会の高校生ポスター発表に関しては、研究目的、実験観察、考察、プレゼンテーションの各分野に関して明確な審査基準があり、その審査結果によって植物学会会長賞を受賞したのです。



審査員からいただいたコメント（原文）

- AM菌がコナラに感染することと、その感染の有無を分けて調べる実験系が得られたことは、とても大きな進展とと思いました。身近な実験材料から、とてもよい実験系を確立できたと思います。さらなる研究の展開が楽しみです。
- 1回目の実験の結果をもとにサンプル数を増やし定量性のあるデータを示していることに信頼がおけました。滅菌した土には本当にAM菌がないかも観察してあると良いと思います。また、AM菌との共生がすでに知られている植物（マメなど）をポジティブコントロールに使用することで実験がうまく行っていることを示すとより良いものになると思いました。

